

いざというときに何をすべきか～初動対応を学ぶ～



11月28日(日)に上多度プラザにて、上多度地域自治町民会議により地区での防災訓練が行われました。自治町民会議の役員を中心に、避難所開設訓練、災害・避難者カード作成、防災関連動画視聴、水消火器訓練を実施しました。

参加者は1訓練につき20分程度受講し、災害時の初動段階での応急対応などについて学びました。当たり前のことを確認したり、始めて聞いたり手に取ったりするものについて説明を受けたりと、幅広く災害時に何をすべきなのか確認し、いざというときにどう行動しなければならないか学ぶ貴重な機会となりました。

人を思いやる気持ちを育てる



12月3日(金)に池辺小学校にて1～3年生の児童を対象として、大垣人権擁護委員協議会 人権創作劇委員会により人権教室が開催されました。同委員会は西濃地域のこども園や小学校などを対象に人権啓発活動を行っています。

委員の日比勝さんは「子どものうちに人権について考える機会を作り、人を思いやる気持ちを持って成長して欲しい」と願いを込めて活動が続けていると話しました。

人権啓発のために創作された劇が披露され、子どもたちは真剣なまなざしで鑑賞し、人を思いやる気持ちの大切さについて考える機会となりました。

町民の命と財産を守るために



11月28日(日)に養老小学校にて、養老郡消防協会機動演習・講習会が開催されました。消防団員は、火災発生を想定した機動演習(放水訓練)とポンプ車・小型ポンプの操作訓練により、火災発生時に消火活動を行うために必要な知識を習得しました。このように消防団員は、消防署とともに町民の皆さまの命や財産を守るために、日々訓練を積み重ねています。

有事に備え、万全を期してはいますが、町民の皆さまは、火にはくれぐれも用心していただき、火事のないようにお過ごしください。